

令和4年度針尾保育園事業報告書

1 保育所の運営

(1) 定員 70名

(2) 年齢別・月別入所児童数(各初日現在)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	4	5	6	6	6	8	9	11	11	12	12	12	102
1～2歳児	19	18	18	18	18	16	16	16	16	15	15	15	200
3歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
4歳児以上	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
計	60	60	61	61	61	61	62	64	64	64	64	64	746

(3) 職員数 令和4年度初 24名 令和4年度末 24名(11月～ルンビニより1名)

(4) 職員の異動

① 採用

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R4. 5. 2	代替調理員		33		
R4. 6. 6	常非調理員		47	調理師	

② 退職

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R4.7.31	代替保育士		54	保育士資格	

(5) 職員会議の開催状況

月に2回以上及び必要に応じて開催し、全てを記録にとり全職員へ周知を行った。また、本年は保育園関連の報道が多く、そのたび毎に詳しい情報を読み、本園の保育と照らし合わせ(保育中の事故や虐待等)改善点等を話し合った。

更に気になる子や保護者を含め全ての問題点については、毎回取り上げ話し合いを行う事で、全園児を全職員が共通理解出来た。職員の研修後には報告を受け、重要な点は後に職員研修として行った。

2 保育の実施状況

コロナ感染対策を計りながらも、県の発表する感染レベルに応じて保育→行事の取り組みを変えて行った保育理念である「命を大切に」のもと、毎日毎日「ていねいな保育」を基本とした。更に保護者との連携をよくするために、園のホームページに保育の様子をUPしたり、感染レベルがIの期間には個別の保育参観を行いアンケートを取った。行事では「行事のための保育」ではなく、「日常の保育の延長の行事(発表の場)」を意識し取り組んだ。また、安全対策として「命を守る」を合言葉に各種訓練を行った。

3 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数(月・週指導回数)	委託先名
幼児体育指導		隔週木曜日午前10時より 年間21回	いむら体育教室
漢字保育指導		年6回(5月・6月・8月・10月・12月・1月) コロナウイルスの感染症拡大により7月は中止	登龍館
英語遊び		毎週月曜日午前9時30分より 年間33回	ECC

4 年間行事の実施状況

実施年月日	行事	実施年月日	行事
R 4. 4. 1	始まりの会	1 0. 7	運動会総練習
4. 8	花まつり(桜組バスハイク・島瀬公園)	1 0. 1 5	第 44 回運動会
4. 1 2	交通安全教室 15:30~	1 0. 1 7	避難訓練(不審者侵入)
4. 2 0	誕生・園内花まつり	1 0. 1 8	誕生会
4. 2 3	歓迎遠足(雨天により通常保育)	1 0. 1 8	尿検査(3歳以上児)
4. 2 5	避難訓練(火災)	1 0. 1 9	避難訓練(火災)
4. 2 7	桜・菊組バスハイク	1 0. 2 4	送迎バス監査
5. 1 7	漢字園内研修(桜組)	1 0. 2 5	西海橋スケッチ大会参加(桜組)
5. 2 0	漢字研修	1 0. 2 8	漢字研修
5. 2 3	百合組バスハイク(第2西海橋)	1 1. 2	鍛錬遠足
5. 2 5	誕生会・心の保育	1 1. 4	サンホーム江上訪問(桜組)
5. 2 6	桜・菊組バスハイク	1 1. 8	ふかし芋作り(桜組)
5. 2 7	避難訓練(火災)	1 1. 1 0	桜組バスハイク
6. 2	桜・菊組バスハイク	1 1. 1 2	百合・菊・桜バスハイク(無線体験)
6. 2	歯科検診	1 1. 1 6	百合・菊・桜バスハイク (ハウステンボス周辺)
6. 8	尿検査(3歳以上児)	1 1. 2 2	誕生会・心の保育
6. 1 7	漢字研修	1 1. 2 4	総合避難訓練(東消防署立ち会い)
6. 2 1	誕生会・心の保育	1 1. 2 6	内科健診
6. 2 4	桜・菊組バスハイク	1 1. 2 9	福祉会内公開保育(針尾)
6. 2 7	避難訓練(漏電火災)	1 2. 2	漢字研修
6. 2 8	避難訓練(不審者侵入)	1 2. 2	交通安全教室 15:30~
7. 6	誕生会・七夕集会	1 2. 7	百合・菊・桜バスハイク(虚空蔵山)
7. 7	相浦総合グラウンドプール(桜・菊)	12/8~10	作品展
7. 1 4	ハウステンボスキッズワールド招待・桜	1 2. 2 8	保育納め
7. 2 7	1 1 0 番通報点検	R 5. 1. 4	保育始め
7. 2 7	避難訓練(地震)	1. 1 0	防犯訓練(不審者侵入)駐在所立会い
7. 3 0	避難訓練(裏山火事)	1. 1 7	誕生会(12月1月合同)
8. 3	交通安全教室 15:30~	1. 1 9	漢字研修
8. 1 8	N B C ラジオ電話取材(桜組)	1. 3 0	避難訓練(横の畑火事)
8/24~31	夏祭り(各クラスにて開催)	1. 3 0	1 1 0 番通報点検
8. 2 6	漢字研修	2. 1	誕生会・節分集会
8. 3 0	避難訓練(火災)	2. 1 4	発表会総練習
9. 7~9	東明中学校職場体験	2. 1 4	卒園記念写真
9. 2 0	誕生会 8月、9月合同開催	2. 1 8	第 4 4 回発表会
9. 2 6	避難訓練(台風)	2. 2 2	食育調理(チキンカレー)桜組
9. 2 9	避難訓練(火災)	2. 2 2	避難訓練(火災)
3. 1	監査	3. 1 4	桜組バスハイク
3. 1	誕生会	3. 2 4	桜組バスハイク
3. 1 0	桜組バスハイク(森きらら)	3. 3 1	終わりの会

5 職務分担表（令和3年度）最終版）

職名及び氏名	職務内容	
園長 古峨 知都子 (苦情解決責任者)	1 理事会の決定事項の執行 2 運営管理(人事・労務・施設・防火) 3 保育業務の管理(保育課程の作成)	4 財務管理 5 職員の資質向上(研修) 6 関係機関、保護者会等との連携及び地域活動 7 苦情解決責任者
主任保育士 (苦情受付担当者) 安全運転管理責任者	1 園長の補佐 2 職員相互の連携 3 保育課程の作成及び保育内容の指導助言 4 園内研修の企画及び指導 5 園行事に関する計画及び指導	6 保健衛生に関する計画及び指導 7 給食に関する助言指導 8 職員会議の計画と実施苦情解決責任者 9 苦情受付担当者 10 小学校との連携 11 バスの運行と安全管理
保育士 共通事項	1 指導計画の作成 2 保育実務 3 保育に関する記録園児の健康と安全管理	4 調理員との連携 5 保護者との連絡及び指導 6 園だよりの作成
保育士	*桜組の担任	
保育士	*菊組の担任	
保育士	*百合組の担任	
保育士	*薔薇組の担任	
保育士 看護師	*堇・蒲公英組の担任	
保育士	1 園舎内外の掃除点検・消毒	2 共通遊具の整理、保存
保育士	1 保育材料に関すること 2 備品物品に関すること	3 掲示板
保育士	1 図書に関すること	
保育士	1 交通安全及び避難訓練に関すること	2 備付物品に関すること
保育士	1 避難訓練に関すること	
保育士	1 保健衛生に関すること	
看護師 (衛生推進者)	1 医薬品の整備・保管 2 衛生推進に関すること	3 健康診断及び歯科検診、尿検査に関すること 4 検便に関すること
保育士	1 延長保育促進事業に関すること	
保育士	1 心の保育に関すること	
保育士 (食育担当)	1 食育に関すること	
調理員	1 献立の作成及び給食材料の発注・検収 2 給食人員の把握 3 調理・配膳	4 炊具、食器の保管 5 給食事務 6 園舎内外の清掃、整頓に関すること
用務員	1 園児バス運転に関すること	2 園の用務に関すること
嘱託医	1 園児及び職員の健康診断	2 園児及び職員の健康に関する指導
嘱託歯科医	1 園児の歯の検診	2 園児及び職員の歯の健康に関する指導

6 施設等の整備状況

(1) 施設の改築・修繕（100万以上）

年 月	工 事 名	金 額 (円)
無		

(2) 固定資産物品（10万以上）

年 月	物 品 名	金 額 (円)
無		

7 保育所の自己評価

(1) 職員の自己評価

例年の自己評価と共に“保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト～「子どもを尊重する保育」のために～”を使ったり、新聞記事等を参考に話し合ったりして自己評価に反映させた。

(2) 保育園における自己点検・自己評価

全職員を三つのグループに分け作成、その後園長の責務のもと、園全体の点検評価を作成した、良い点は更に向上させ、改善点は確実に改善できるようにしたい。

8 職員の研修参加状況

オンライン研修の受講に職員も慣れ、積極的に参加した。キャリアアップの支給条件があり、常勤的非常勤の職員も受講した。また園内研修や福祉会5か園での公開保育研修を実施した。

年・月・日	研修会名	参加者
R4. 4/22	食育研修会（オンライン）	
4/27	保育研修（オンライン）	
7/21	主任・主幹研修	
10/20	調理従事者研修会	
10/18	保健研修会	
11/8	安全運転管理者等講習会（オンライン）	
11/5	食育部会(一人一人の子どもに寄り添う食育)	
11/10	保育士部会（インクルーシブ保育）オンライン	
12/16・17	キャリアアップ研修(幼児保育)オンライン	

R5. 1/13・14	キャリアアップ研修(食育・アレルギー対応) オンライン	
1/16・17	キャリアアップ研修(マネジメント)オンライン	
1/30・31・2/1	キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援)	
2/2・3	キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援) オンライン	
2/4・6	キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援) オンライン	
2/8・9	キャリアアップ研修(乳児保育)オンライン	

9 意見・要望・苦情・不満処理受付状況 3件

1. ホームページに個人名が特定される写真が掲載されていた。

対応：個人名が特定されないように訂正しました。

2. 特定の職員の対応に不快感を感じた。

対応：連絡帳に記載があったので、迎え時に担任が話を聞いた。今までに何度か不快な思いをした事や、訴えるきっかけとなった日はオムツがひどくずれていた。事などを話された。悪意があつての行動ではなかったことオムツの件は偶然ではあつたと思うが、今後気をつける事を話した。不快に感じるような態度を取った職員はもちろんのこと、全職員に対応に気をつけるよう話をして、全職員同じ意識の元対応することを話した。そして保護者対応を一人の職員に限定してほしいとの要望には、勤務体制上無理なことを伝えた。

3. 家で「ご飯をいっぱい食べて、腹ぺこになる」と子どもが言っている、園でそういう言葉がブームなのか。また、家でご飯を食べるように毎回努力している(母が)のに、朝ご飯を食べさせていないかのように連絡帳に書かれた事があつた。(昨年度より)特定の保育士が個人的に(母への)嫌悪感からそのような事を書いているように思う。

対応：連絡帳に記載があったので園長より電話をして話を聞いた。言葉使いについては子どもの発達段階において周りの反応を楽しんでいるのではないかと伝えた。その後の話の中で、論点がずれたり、母親の考え方に気になる点があつたので、母親とも話し、保健師に連絡して相談にのってもらよう話をした。特定の保育士に対しては、連絡帳を見せて母親の気持ちを伝えた。1ヶ月程経ち母親の気持ちが落ち着いて、誤解でした。と謝罪があつた。

R4年度

保育園(所)における自己点検・自己評価

(園名 針尾保育園)

・ A、B、C、Dの4段階評価

A：大変良い
B：良い
C：一部改善を要する
D：改善を要する

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた保育課程を設定しているか。		○			保育理念や目標は変更していないが計画については、乳幼児の発達や施設や地域の特色等又、新型コロナウイルス感染状況を考慮し設定できた。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は情勢を鑑みて子どもの最善の利益になっているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			乳幼児の実態や社会情勢に即した指導計画を作成し、保育所保育指針に基づいた援助、支援を適切に行った。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				良い。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			新型コロナウイルス感染状況(感染レベル)に応じて随時行事のあり方を検討し、行った。お遊戯会を発表会と改め、より一層乳幼児の自主的、実践的な活動が行えた。常日頃より職員会議で行事の振り返りを行っている。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に充分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			

◎ 保育計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価	意見・改善策
----	-----	-----	--------

		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				各々の分担や割り当てによつての運営は定着できている。また、協力体制を維持する為、常に会議や意見交換を行った。
		(2) 職務内容が明確で、協働出来る体制になっているか。	○				
		(3) 職員の配置は適材適所か。	○				
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			月2回以上の職員会議を行い、伝達ではなく各々が発言し、検討をしている。会議録は全職員が読み、周知の徹底を計った。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			クラス目標は理念、方針に基づくと共に前年度の反省を生かして作成した。又、一年間の乳幼児の成長を見据えた内容であり、途中の見直しも行った。更に、異年齢児や地域との交流も状況に応じて設定した。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢時間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。			○				
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				各種安全計画により、適切な対策や実施が出来た。新型コロナウイルス感染症では、より密な家庭との連携を計った。安全確保では警察のアドバイスを受け、玄関の施錠を実施した。	
	(2) 避難訓練・交通安全を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○					
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○					
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等との連携を図っているか。	○					
研修	所内研修	(1) 所内研修は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○			所内、所外研修共、受講後は復命書や報告等を行った。所外研修が少ない分、園内研修や福祉会での研修を行い、日常の保育に反映した。
		(2) 所内研修の計画は・運営は適切か。		○			
		(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○			
		(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○			
所外研修	(1) 各種研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。		○			オンライン研修が主であったが、ほぼ全職員が一回以上は受講した。	
	(2) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	

情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り合っているか。	○			全職員に個人情報保護の重要性を理解してもらい、書類や写真等、園外への持ち出しには最大限に注意を払った。公文書や各諸表簿の扱いは適切に出来た。		
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	(3) 各諸表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○					
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		安全計画に基づき、各所の安全点検や園庭・遊具用具の整備をした。不審者対応訓練は年3回行い、駐在所の警察官にも立ち会ってもらった。ホームページの充実を計ったり、緊急メールも活用出来た。		
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対する周到な配慮を行っているか。	○					
	(4) 掲示板、掲示場所等を適正かつ効果的に活用しているか。		○				
納入経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか	○			適切に処理出来た。		
開かれた交流・連携の場づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		福祉会5ヶ園による園児の交流は新型コロナウイルス感染症により今年度は自粛したが、職員相互による公開保育は、感染レベル1の時にいった。他園の保育に触れることで自分の保育の気づきや振り返りが出来、質の向上につなげた。小学校との交流はできなかった。	
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感が味わうことができるような配慮や・支援を行っているか。			○		
		(3) 指導者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助についての共通理解を図っているか		○			
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして幼稚園、小学校の教育を理解しているか。			○		
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。					○
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、参観日等を設定しているか。				○	新型コロナウイルス感染症がレベル1の時には、保護者の希望をとり、保育参観を全員に行うことが出来た。行事バスを利用し、地域社会へ出掛けたり、地域の行事に参加することが少しずつ出来てきた。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。				○	
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域会その他の施設と交流しているか。			○		
(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。				○			

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
子育て	(1) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行って				○	新型コロナウイルス感染症により、園児以外との交流はなかつ

開 か れ た 保 育 所 づ く り 評 価	く 支 援 の 推 進	(2) 職員による育児にかかる「子育て相談」は充実しているか。		○			た。
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			保護者の悩みや困り事に対しては、職員による対応や専門機関との連携を計ったりして、必要な情報提供に努めた。
	情 報 の 発 信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				園だより、ホームページ、他各種の便りで発信出来た。
	外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	平成18年に第三者評価受審。保護者からの要望や苦情等に対しては園だよりやホームページに掲載し反映している
		(2) 保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			